2013 No.45
8 号外

The Kashiwara Miharibanー

かしわら見張り番

発行所 かしわら見張り番
〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX.072-977-8782
info@kashiwara-miharibanー.com

正義 財政 絆
このままでは柏原市は破たんする!?

現市政にNOと言える議員を!

前岡本市政の利権体質を継承する中野市政!
「思いやりのある市民サービス」「市民が主役の市政」を取り戻さなければ「市民の絆」が崩される!

「かしわら見張り番」が柏原市政を追求し続けて5年近くが経ちました。この7月に現市政に対する緊急アンケート調査を実施したところ、様々なご意見をいただきました。

「かしわら見張り番」に今後追求してほしい問題

●中野隆司市長の不正とスキャンダル問題

師時代に、「女子中学生が恐怖によって失禁するほど怒鳴り上げ、青タンが生じるほど男子生徒を殴った」など、体罰&セクハラの常習犯であったことを週刊文春に取り上げられました。これに怒りを感じた柏原市の一市民が弁護士を代理人として、中野市長に「これは事実なのか」という質問状を送りましたが、なんの返答もありませんでした。

師岡市長は中学校教

さらに、全国紙にも掲載された「市民のみなさん、どんどん心筋梗塞（こうそく）になって」の発言。赤字の病院を救うためのジョークと弁明していますが、「こんなことをポロっと言っちゃうヤツがよく市長にまでなれたな」とまでネットやツイッターに書き込まれました。まさに、柏原市の恥を全国にさらす結果となったのです。

●柏原市の財政問題・市立柏原病院の赤字と不正問題

少子高齢化の影響で人口が少しずつ減少、それに伴い市民からの納税も微減しています。市内には目立った産業もありませんので、企業からの法人税も望めません。

そして市の赤字はんどんふくらんでいます。たとえば市立柏原病院の経営は毎年5億円の赤字を出しています。さらに病院が負担する返済金（特別債3億2000万など）も赤字の病院には支払う能力がありません。そのため、市は約10億円以上の市民の税金を市立柏原病院につぎ込んでいるのです。

「柏原市政にあなたは何を望みますか?」

●議員定数および給与の削減

人口7万3000人という小さな市に、議員の定数が多すぎるのです。人口からいうと11人が適切であり、現在の18名は多すぎます。定数を減らすことで柏原市の歳出を減らせます。また、議員一人当たりの年間報酬約1000万円は高すぎます。

●市の幹部職員の給与およびボーナスの削減

市長はもちろん、市の幹部職員の給与をもっと下げるべきです。柏原市民の平均収入に比べ、高過ぎます。

※そのほか、赤字の市が「2000万円」という予算で花火大会を開催したことにも疑問の声が上がっていました。

現市政にNOと言える議員を選出しよう!

前岡本市政から中野市政に継承された不正や利権体質の構図は何も変わっていません。市立柏原病院は膨大な赤字であり、このままでは、柏原市は破たんします。

根本から立て直すためには、現市政に「NO!」と言える議員が市議会にいなければ何も変わりません。今後も「かしわら見張り番」をよろしくお願いいたします。

前岡本市政から中野市政に継承された不正や利権体質を改革し、柏原市政を改革し、柏原市民サービス「市民主役の市政」を取り戻し、柏原市政を改革し、柏原市民サービス「市民主役の市政」を取り戻し、柏原市政を改革し、柏原市民サービス「市民